

令和5年度 中山町商工会経営発達支援事業  
事業評価委員会【会議報告】

日時 令和5年10月5日（木）書面開催  
場所 中山町商工会 会議室

令和4年度中山町商工会経営発達支援計画事業報告

I. 経営発達支援事業の内容

3. 地域の経済動向調査に関すること

(目標・実績)

内容	公表方法	R4年度 目標	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	R7年度 目標	R8年度 目標
①地域の経済動向分析の公表回数	HP 掲載	1回	0回	1回	1回	1回	1回
②中山町商工会管内景況調査公表回数	HP 掲載	1回	1回	1回	1回	1回	1回

①地域の経済動向分析（国が提供するビッグデータの活用）

RESAS やインターネット、業界情報誌より市場の動向等について分析し、事業計画策定支援に活用した。業種別、事業所別に分析を行ったため HP に公表はしていない。

②中山町商工会管内景況調査

商工会会員事業所に対し記名式のアンケート調査を実施した。会員事業所 237 社に調査票を送付し令和4年11月18日から12月28日の間、アンケートの回収を行った。有効回収件数については87件。アンケート内容については主に次の4つ、合わせて商工会に対する意見や要望を記入頂いた。

1. 経営方針について
2. 後継者候補について
3. 経営上の悩みについて
4. 商工会に希望する支援について

今回の調査結果については、設備投資に係る補助金案件、事業承継等、今後の商工会支援における基礎資料となり、個別相談案件の掘り起こしや商工会事業の推進に繋がった。また、商工会 HP に公表し会員事業所への情報公開を行い、今後の経営に関する意識を啓蒙した。

4. 需要動向調査に関すること

(目標・実績)

内容	R4 年度 目標	R4 年度 実績	R5 年度 目標	R6 年度 目標	R7 年度 目標	R8 年度 目標
①バイヤーのニーズ調査 対象事業者数	2 者	0 者	2 者	2 者	2 者	2 者
②テストマーケティング 事業調査対象事業者数	2 者	0 者	2 者	2 者	2 者	2 者

①バイヤーのニーズ調査の実施（年 1 回）

県連合会によるテストマーケティング事業がモール型 EC サイト活用販路開拓支援事業に変更となったためバイヤーのニーズ調査なし。

②テストマーケティング事業の実施（年 1 回）

県アンテナショップ出展事業所なし。

5. 経営状況の分析に関すること

（目標・実績）

内容	R4 年度 目標	R4 年度 実績	R5 年度 目標	R6 年度 目標	R7 年度 目標	R8 年度 目標
①セミナー開催回数	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
②経営分析事業者数	10 者	20 者	10 者	10 者	10 者	10 者

①経営分析セミナーの開催

日常業務の巡回・窓口相談を通じてセミナーの参加者を募集した。

②経営分析の内容

定量、定性分析を行い事業計画の策定につなげた。

6. 事業計画策定支援に関すること

（目標・実績）

内容	R4 年度 目標	R4 年度 実績	R5 年度 目標	R6 年度 目標	R7 年度 目標	R8 年度 目標
①DX 推進セミナー	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
②事業計画策定セミナー	1 回	3 回	1 回	1 回	1 回	1 回
事業計画策定事業者数	5 者	20 者	5 者	5 者	5 者	5 者

①DX 推進セミナーの開催

DX に関する意識の醸成や基礎知識を習得するため、また、DX に向けた IT ツールの導入や web サイト構築等の取り組みを推進していくためのセミナーを開催した。

②事業計画策定セミナーの開催

国、県各種補助金、支援金獲得に向けた事業計画策定セミナー、経営革新につながる事業計画策定セミナーを開催した。

#### 事業計画策定事業者数

販路開拓に取り組む補助金申請や生産性向上のための設備導入に取り組む補助金申請に向けた事業計画策定の支援を行った。また、税制優遇措置である先端設備導入計画や新たな取り組みに向けた経営革新計画、創業計画の策定支援を行った。

### 7. 事業計画策定後の実施支援に関すること

(目標・実績)

内容	R4 年度 目標	R4 年度 実績	R5 年度 目標	R6 年度 目標	R7 年度 目標	R8 年度 目標
フォローアップ 対象事業者数	5 者	18 者	5 者	5 者	5 者	5 者
頻度 (延回数)	60 回	84 回	60 回	60 回	60 回	60 回
売上増加 事業者数	3 者	11 者	3 者	3 者	3 者	3 者
利益率増加 事業者数	3 者	10 者	3 者	3 者	3 者	3 者

事業計画策定事業者に対し実行支援及び進捗確認のため定期的にフォローアップを行った。状況に応じたフォローアップにより事業者によっては頻度に差がでた。補助金獲得の為の事業計画策定を契機として経営革新や法認定支援へとつながった。事業計画策定事業者 20 社の内売上増加につながった事業者は 11 者、利益率の増加につながった事業者は 10 者となった。この要因については、販路開拓に向けた補助金や生産性の向上に向けた補助金に取り組み、成果がでた結果によるものとする。

### 8. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

(目標)

内容	R4 年度 目標	R4 年度 実績	R5 年度 目標	R6 年度 目標	R7 年度 目標	R8 年度 目標
①WOOD コレクション 出展事業者数	2 者	1 者	2 者	2 者	2 者	2 者
成約件数/者	2 件	0 件	2 件	2 件	2 件	2 件
②おいしい山形・食 材王国みやぎビジネ ス商談会参加事業者 数	2 者	0 者	2 者	2 者	2 者	2 者

成約件数／者	2件	0件	2件	2件	2件	2件
③ネットショップの開設者数	3者	1者	3者	3者	3者	3者
売上増加率／者	10%	17%	10%	10%	10%	10%

①WOOD コレクション出展事業 (B to B)

令和5年1月31日～2月1日開催

②おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会参加事業者数 (B to B)

出展希望者なし

③自社HPによるネットショップ開設 (B to C)

県連合会によるテストマーケティング事業が新たにモール型 EC サイト活用販路開拓支援事業となり取り組んだ結果、売上高が増加した。

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

9. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

- ①本会三役会による進捗確認 (12回)
- ②事業評価検討委員会 (1回)
- ③事業の成果・評価・見直しの結果については本会ホームページにて計画期間中公表する。

10. 経営指導員等の資質向上等に関すること

- ①中小企業大・大学等研修会への参加
- ②DX推進に向けたセミナー
- ③OJT制度の導入
- ④職員間の定期ミーティングの開催
- ⑤経営支援システムの活用

(委員からの評価・コメント)

委員からの評価・コメント	回答
<p>コロナウイルス感染症の取り扱いが感染症第2類から第5類へと変化する中での商工会活動の励行は、非常に大変であったと思います。第5類へ移行した現状であっても、感染症に対する感じ方は人それぞれであり、今後もこのご苦労は続いていくのではないかと感じている次第です。そんな制約を受ける中、着実に活動実績を上げていただいたことに敬意を表します。確かに、コロナウイルス感染症関連補助金・助成金等により実績が上がったということはあるとは思いますが、問題のないことであると思います。コロナウイルス感染症の対応を契機として、中山町商工会の会員の皆様の健全経営に資する活動を充実されることをご期待申し上げております。</p>	<p>事業者の経営課題がコロナから物価・エネルギー高に変化し、今後も様々な経営課題の変化が予想されます。国、県、関係団体では時流に沿った補助金・助成金が公募されますが、いち早く事業者に伝え、制度の活用や、経営環境の変化に沿った対応ができるよう今後も継続していきます。また、実績の積み重ねが事業者からの信頼に繋がるものとし引き続き支援にあたります。</p>
<p>「3. 地域の経済動向調査に関すること」について</p> <p>事業報告書によれば、237社へ調査票を発送、1月以上をかけて回収し、有効回収件数87件とあり、回答率は36.7%となっております。原因として、そもそもの回収数が少ないのであれば、回収のための催促や訪問をすべきであるし、有効回答が少なかったのであれば、再提出をお願いするなどの対応が必要ではないでしょうか。今後の調査においてはより高い回答率となるよう、要望いたします。</p>	<p>昨年度はコロナの影響により対面での対応が積極的にできなかったことも回答率低下の一つの原因であったと感じています。アンケートの結果を基に今後の事業展開や個社支援に繋げているため、回答の催促や、会議等の場で呼び掛けるなど何度か行いましたが回答頂けない事業者が多く存在しました。回答頂けない理由が何なのか（アンケートの内容、回答方法等）改めて検証し、高い回答率となるよう改善していきます。</p>

事業評価委員

No.	所属	氏名	備考
1	渋谷税務会計事務所	渋谷和	外部有識者
2	中山町役場	阿部弘	行政関係者